

飛驒地区（高山市上野地区）

【地域の概要と事業取り組みへの経緯】

- 当該地域は、基盤整備が進んでおり1筆あたりの面積も大きく、比較的耕作しやすく優良な農地が多い。また、圃場は水の便も良く市内での営農には最も適した地域である。
- 水稻をはじめ雨よけハウス栽培による高冷地野菜のハウレンソウやトマト、畜産、果樹等の生産が盛んである。
- 地域の特徴としては、入り作が多く農地の利用も盛んであるが水田とハウスが入り組んでいるため作業効率が悪い。
- 高齢化や若者の農家離れによる後継者不足や担い手不足が課題となっており、今後の農地の維持管理について検討を始めた。

取組開始前の状況や課題

◆地域の課題

- ①水田とハウスが乱立しており、作業効率が低下している。
- ②高齢者が増加し、草刈りや水見などの作業が大きな負担になってきている。
- ③園芸の担い手はいるが、水稻の担い手が少ない。
- ④担い手が手一杯の状況となっている。



取組内容

- 意見交換会・座談会の実施（4回）
- 農業の未来を考えるアンケート調査
- 上野地区の改良組合員と農業委員が集まり、地図に色塗りを行う。
- 所有者ごとの色分けを行い、所有者の分布や耕作物を確認。
- 将来の農地利用及び集積について意見交換を行う。



今後の展開と方向性

- ◆上野地区の農業の今後に向けて
 - 意見交換の意見をもとに、改善の方向を探る。
 - 作業効率の向上に向け、担い手同志の権利移転等を検討する。
 - 荒廃農地の防止に向け、耕作放棄の見込みがある農地を担い手へ貸借する。

